

2023年はどんな年？

2023年は「癸卯（みずのと・う）」。生命の終わりと新たな生命の成長という意味がある「癸」と、穏やかなうさぎの様子から安全・温和の意味を持つ「卯」は、うさぎの跳ね上がるイメージとあわせ、何かを開始するのに縁起がよく物事が好転する良い年になると言われています。そこから「癸卯」の年は「今までの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍する年」になると考えられています。

また経済面において、株式相場では「子（ね）は繁栄、丑（うし）つまずき、寅（とら）千里を走り、卯（う）跳ねる、辰巳（たつみ）天井、午（うま）尻下がり、未（ひつじ）辛抱、申酉（さるとり）騒ぐ、戌（いぬ）は笑い、亥（い）固まる」という言葉があります。うさぎには跳ねる特徴があるため、景気が上向きに跳ねる、回復すると言われており、株式市場にとっては縁起の良い年として知られています。

「寅、千里を走る」の昨年は、ウクライナ紛争の勃発に始まり、世界的なインフレ加速や金利の急上昇、円相場急落と、寅が「暴走」したともいえる年でした。

2023年の日本経済は次のステップにぴょんと「飛躍」できるでしょうか。

2023年の予定

- 4月 新しい省庁「こども家庭庁」が開庁予定
- 4月 労働基準法、労働基準法施行規則、育児介護休業法が改正施行される
- 5月 先進国首脳会議（G7サミット）が広島市で開催される予定
- 10月 消費税インボイス制度開始、仕入税額控除にはインボイス（適格請求書）の保存が必要に

「うさぎ」を使ったことわざ・慣用句

兎の登り坂（うさぎののぼりざか）

持ち前の力を振るうことができ、物事が早く進むこと。うさぎは前足が短く後ろ足が長いので、坂を上るのが得意とされることから。

兎の糞（うさぎのふん）

物事が長続きしないこと。うさぎの糞はコロコロとして繋がっていないことから。

兎の罌に狐がかかると（うさぎのわなにきつねがかかると）

思いがけない幸運や収穫を得ること。



兎の毛で突いたほど（うのけでついたほど）

極めてわずかなこと。細く柔らかいうさぎの毛でつついた程度では何も感じないほどごくわずかであることから。



すし操

代表者

岩城 光司 さん

加古川市加古川町篠原町72-5
TEL: 079-422-2552

昨年も、長引くコロナの影響でなかなか客足が戻らず大変な1年でした。以前は「店主目利きの美味しい魚を食べに行きたい」と要望があれば休みの日でもお店を開けたり、ミシュランの兵庫県版ビブグルマンにも認定されたりして、頑張ろうと思える張り合いがあったのですが、コロナは私たちの頑張る機会さえ奪いとても歯痒い日が続いています。

以前のように遅くまで店を開けていないのと、後継者の息子が頑張ってくれているので、昨年は自分の時間が少しとれるようになりました。でも、いざ時間ができると何をしようか、と迷ってしまう毎日です。

最近、健康維持のため週3日、散歩程度の距離を歩きはじめました。歩くならもっと歩かないと、という声もあるんですが私にはこれぐらいがストレスなく続けられていいんです。仕事一筋、家族旅行も行かず働いてきましたから“のんびり・ゆっくり”自分のペースでいこうと思います。

もちろんまだお店にも立っていますので、仕事とプライベートのメリハリをつけながら、“年男”だからと気合いを入れ過ぎずに楽しく毎日をご過ごせたらいいですね。今年こそコロナが落ち着いて、また駅前に皆さんの元気な笑い声が響くことを願っています。

72歳

岩城さんの生まれた1951年（昭和26年）はこんな出来事がありました
・サンフランシスコ平和条約締結 ・（旧）日米安全保障条約調印 ・ユネスコに正式加盟 ・第1回NHK紅白歌合戦放送 ・三共が日本初の総合感冒薬「ルリル」を発売



日坂印刷所

代表者

日坂 幸枝 さん

加古川市神野町西之山445
TEL: 079-424-3083

主人が亡くなった直後から経営に関して右も左もわからない中、ただがむしゃらに日々を過ごしてきました。昨年は頼りにしていた息子が亡くなったり、仕事もコロナや原材料高の影響を受けたりと大変な一年でした。年齢的な疲れも相まって事業継続について考えることが多くなりましたが、納品に行った時に昔からのお客様の笑顔を見ると、もう少し頑張ってみようかなと思います。

お友達からも「健康のために〇〇をしている」というのを聞くのですが、私は特に何もしていないんです。仕事をしていますので、足はよく動かしている方だと思います。ありきたりですが『栄養バランスのとれた三度の食事』を欠かさないことでしょうか。それに加えて週に1回、仲の良いお友達と喫茶店でコーヒーを飲みながら話をするのがストレス解消法。気心の知れた人と共通の話で思いっきり笑って過ごす時間が本当に楽しいです。

私のささやかな楽しみは、庭の草花がきれいに咲いてくれることです。なかでもサルビア・アズレアは私のお気に入り、花の色は薄い青色で小さな花弁をつけます。剪定時期を間違えると行儀悪く倒れてしまうのですが、秋にコスモスの花と一緒に大きな花瓶にいけ、部屋に飾るのが楽しみです。

今年も変わらず元気に笑顔で一年をご過ごせたらいいですね。1年が終わる頃にまた「良い年だったね」と、いつもどおり喫茶店で笑って話せるよう、健康に気を付けながら無理せず日々を過ごしていきたいです。

84歳

日坂さんの生まれた1939年（昭和14年）はこんな出来事がありました
・第二次世界大戦勃発 ・阪神梅田駅が地下化（現在の位置に移動開業） ・69連勝中の横綱双葉山が安藝ノ海に敗れる ・映画「風と共に去りぬ」が封切り